

令和5年度介護支援専門員実務研修第2期【前期課程】

# 演習様式集

(集合研修1日目)

※注意事項:

本演習様式集は集合研修最終日まで活用しますので、資料として持参して下さい。



長野県介護支援専門員  
研修企画懇話会



## 演習1 介護支援専門員って何をする人か？

- グループディスカッション（自己紹介も兼ねて）

メモ



「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞き「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習2

# 私たちが支援する対象者は、どんな人か？

- グループディスカッション（自己紹介も兼ねて）

メモ



「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞き「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習3

### 相談援助の基本①

初回訪問の面接場面をみて気づいたこと、気になったことを記入して下さい。

●どんな面接であったか(結果とそう思った理由)

●気になったこと(良かった点や悪かった点)

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習3

## 相談援助の基本②

初回訪問の面接場面【scene 2】をみて気づいたこと、気になったことを記入して下さい。

●どんな面接であったか(結果とそう思った理由)

●気になったこと(良かった点や悪かった点)

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習3

## 相談援助の基本③

初回訪問の面接場面【scene 3】をみて気づいたこと、気になったことを記入して下さい。

●どんな面接であったか(結果とそう思った理由)

●気になったこと(良かった点や悪かった点)

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習4

## 面接の方法と態度①②

介護支援専門員の面接の仕方に着目し、面接場面を見ながら次のことを考察して下さい。

【面接①】 面接で把握できた情報

どんな面接をしていたか(結果とそう思った理由)

【面接②】 面接で把握できた情報

どんな面接をしていたか(結果とそう思った理由)



## 演習5

### 面接の方法と態度③ 面接の比較

面接で把握できた情報を比較し、その結果から、面接過程で面接①と面接②ではどのような違いがあったのか考察して下さい。

●面接①と面接②ではどのような違いがあったか？

●グループワークで気づいたこと

※「正しい答え」を求める演習ではありません。自分が感じたことを言語化して伝え、メンバーの意見を聞くことで「気づくこと」「学ぶこと」を大事にして下さい。

## 演習6

### 情報収集の視点① インテーク～アセスメント面接

自分が面接をしているつもりになって、動画を視聴し、こたけさんやすみれさんの様子を観察して下さい。

メモ

## 演習6

### 情報収集の視点① インテーク～アセスメント面接

担当の介護支援専門員として、こたけさんを理解するために、面接で把握できたこと、気づいたこと・気になったことを記入して下さい。

※グループワークで気づいたことも適宜加えて下さい。

●こたけさんの人となり(性格、価値観、拘り、家族との関係性、生きがい、拠り所、思い など)

●現在の暮らし(健康状態、日常の過ごし方、日課や役割、楽しみ、生きがい、生活上の支障、困り事 など)

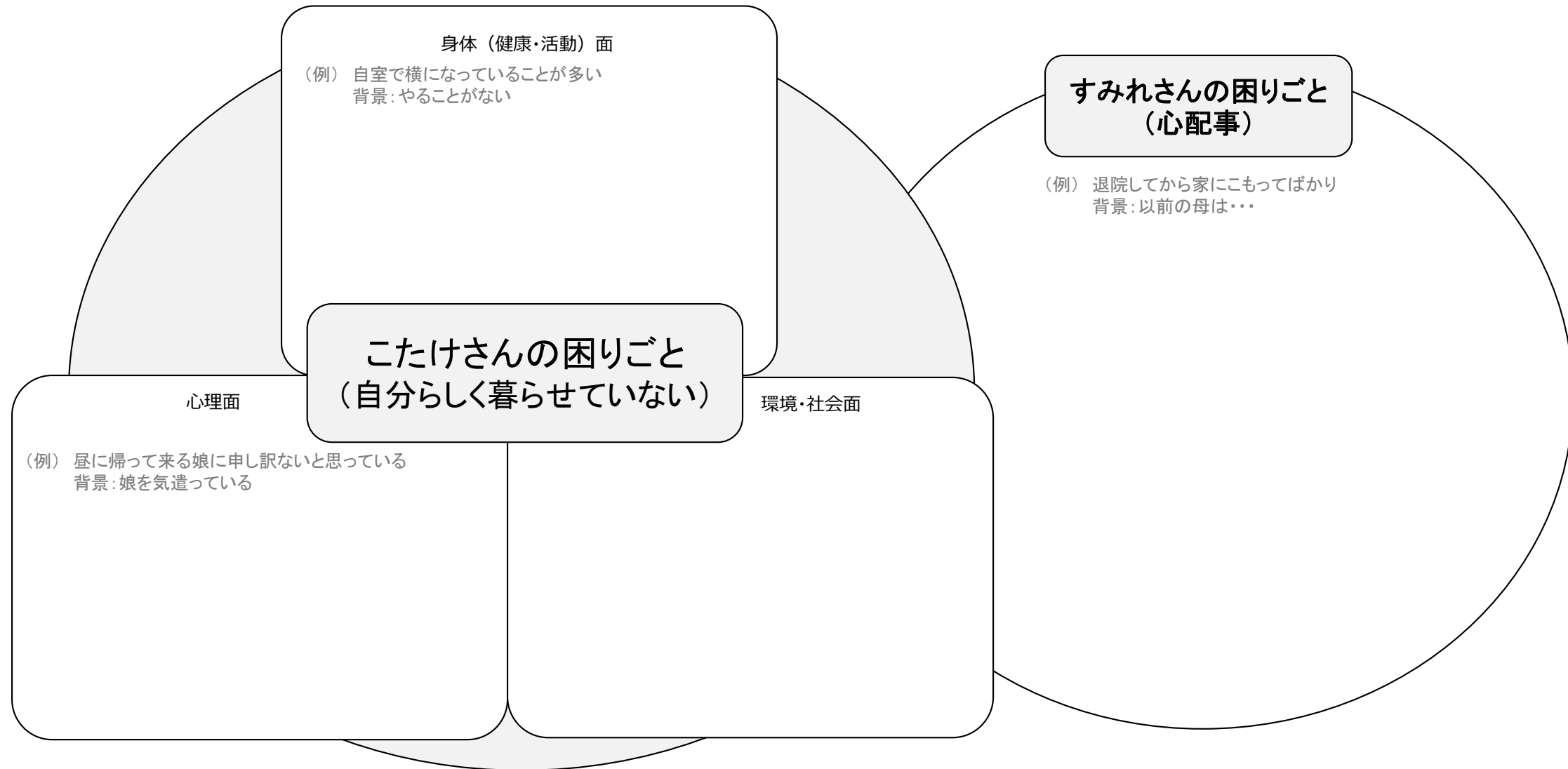
●要介護状態になる前の暮らし(日課・家庭での役割・社会的活躍・地域との繋がり・趣味・生きがい など)

※「正解は何か？」と考えるのではなく、「可能性」(こうかな? こうかもしれない?) を考えることを大事にして下さい。

## 演習7

# 情報収集の視点② 主訴～生活意向の把握（言動の背景を理解する）

“自分らしく暮らせていない”現在のこたけさんやすみれさんの「困りごと」と「そう捉えた背景」を、様々な角度から考察して下さい。  
※できるだけ色々な角度から考察してみてください。グループワークで気づいたことも適宜追加して下さい。



※「正解は何か？」と考えるのではなく、「可能性」（こうかな？こうかもしれない？）を考えることを大事にして下さい。

## 演習8

# 情報収集の視点③ 主訴～生活意向の把握（本来ありたい姿を理解する）

こたけさんは「本当はどうしたいのか」、本人が望む暮らしとそう捉えた理由を、本人の目線に立って推察して下さい。

※グループワークで気づいたことも適宜加えて下さい。

<p>日課や日常(1日や1ヶ月)の過ごし方</p> <p>(例) 昼ごはんの用意を自分でしたい。理由:娘に迷惑かけたくないと言っていた。</p>	<p>家族などとの繋がりや家庭での役割</p>
<p>趣味や生きがい、拘り、拠り所などとの繋がり</p> <p>(例) お店に顔を出したい。理由:生きがいがいった。思い出が沢山ある。常連さんと会える。</p>	<p>仲間や地域、社会などとの繋がりや役割</p>

**私が本来ありたい姿  
(自分らしく暮らせている)**

※「正解は何か？」と考えるのではなく、「可能性」(こうかな?こうかもしれない?)を考えることを大事にして下さい。

## 演習9

# 情報収集の視点④ 主訴～生活意向の把握（ストレングスを理解する）

こたけさんが生活意向を実現していくために、大事にしていきたい情報（力や可能性）を考察して下さい。  
できるだけ色々な角度から考察して下さい。グループワークで気づいたことも適宜追加して下さい。

<p>健康・身体面</p> <p>(例) 内服で血圧は安定している。</p>	<p>活動面</p> <p>(例) ご飯ぐらいはよそえる(可能性)</p>	<p><b>こたけさんを取り巻く環境</b></p> <p>(例) 母親思いの娘がいる</p> <p>(例) かかりつけ医がいる</p>
<p>心理面</p> <p>(例) 娘の役に立ちたいと思っている。</p>	<p><b>こたけさんの情報 (力や可能性)</b></p>	<p>環境・社会面</p> <p>(例) 店の切り盛りを何十年もしてきた。</p>



介護支援専門員の見方によって、本人の力や可能性の見え方（発見）は変わってきます。リフレーミングの視点を大事にして下さい。

## 演習10

### まとめ（演習を通じて理解してきたこと）

担当介護支援専門員としてこたけさんを紹介するとしたら、どのように紹介しますか？

「私（介護支援専門員）は、こたけさんをこう理解しました」という視点で、演習6～9で得た情報を□の中に整理して下さい。

こたけさんは	(こたけさんの人となり・これまでの暮らし方・大切な関係との繋がりや役割など)	な人
いまは	(要介護状態になった理由、本人の困り事、喪失、不安や不満など)	な困り事や不安を抱えているが
本当は	(本来ありたい暮らし、したいこと、できるようになりたいこと、希望や予定など)	な暮らしがしたい思いがあって
そこに向かって	(本人の力や可能性、自覚していない力、頼れる・支えてくれる周囲の力など)	な力や可能性を持っている人

※文章を作る必要はございません。

※次回集合研修2日目までに取り組んでください。本様式は必ず持参してください。

memo :